

I 学力向上基本計画の策定について

1 第3期室蘭市学力向上基本計画策定の趣旨

室蘭市では、すべての児童生徒に確かな学力を確実に身に付けさせるために、室蘭市学力向上推進委員会を組織して、2011（平成23）年に「学力向上基本計画」を、2014（平成26）年に「第2期室蘭市学力向上基本計画」を策定し、本市教育委員会、本市教育研究所、本市各小・中学校において、各種教育施策・事業・取組を総合的かつ計画的に推進してきました。

2011（平成23）年度～2013（平成25）年度に実施しました「学力向上基本計画」では、各学校における①授業改善、②研修体制の確立・充実、③学習・生活習慣の改善、④自己指導能力の育成という4つの柱に基づく学力向上の取組を進めるとともに、それらを支える本市教育委員会や教育研究所の学力向上の事業を進めてきました。

本計画の実施3カ年の成果と課題といたしましては、学力諸調査を実施した各学年・教科の結果を見ますと、学力面や学習・生活習慣面で改善傾向が見られることから一定の成果があったものと分析しています。

本市の小学校・中学校ともに全国平均値と比べると全体的に室蘭市の平均が全国を下回っている状況にあることや、特に小学校においては全国平均値よりも高い学校から低い学校まで広く分布しているなどの課題が残りました。

2014（平成26）年度～2017（平成29）年度に実施しました「第2期室蘭市学力向上基本計画」では、「学力向上基本計画」の成果と課題を踏まえ、各学校における①教育課程の適切な編成・実施、評価・改善、②授業改善、③校内研修の活性化、④学習サポートの実施、⑤小・中連携の強化、⑥家庭における学習・読書習慣の確立、⑦学びを支える学習環境づくり、⑧学びを支える学習規律の徹底、⑨豊かな人間関係の構築という九つの視点から室蘭市のすべての小中学校が、児童生徒の学力の課題解決に向けて、共通意識の下に共通した取組を行っていくために、学力向上のPDCAサイクルを確立し、明確な目標設定の下に作成したロードマップに基づく実践を積み上げてきました。

本市児童生徒の学力にかかわっては一定の向上が図られたものの、引き続き課題も見られます。それらの解決を図り、児童生徒一人一人に確かな学力を育成すべく、「第3期室蘭市学力向上基本計画」を策定し、平成30年度以降の本市教育委員会、本市教育研究所、本市各小・中学校の具体的な教育施策や取組等を示しました。

2 計画の構成と計画期間

「第3期室蘭市学力向上基本計画」は「本市の学力向上に係る取組の成果と課題」、「本市の学力向上に係る取組の目標と重点」、「取組の具体」で構成しています。

計画期間は、文部科学省が策定する「教育振興基本計画」および北海道教育委員会が策定する「北海道教育推進計画」の進行年度に合わせて2018（平成30）年度から2022（平成34）年度までの5か年計画とし、国と北海道教育委員会の動向を踏まえながら、年度ごとに目標の達成に向けた取組等を継続するものです。

3 計画の推進と点検・評価

本市教育委員会、本市教育研究所、本市各小・中学校における計画の推進にあたっては、これまで確立してきた検証改善サイクルを引き続き活用し、年度ごとに計画に基づく教育施策や取組等の実施状況、効果、課題等について点検・評価を行い、その結果を翌年度以降の施策・取組等の展開に反映させます。また、児童生徒の実態や教育における今日的課題、文部科学省や北海道教育委員会における教育改革の動向などを踏まえた、実効性のある計画の推進に努めます。

本計画の点検・評価については、年度ごとに「学力向上推進委員会」を開催し、定期的な点検・評価と計画の見直しを行います。

各学校の取組については、各校における定期的な点検・評価を行います。加えて、室蘭市小・中連携推進会議において各校の代表者（実務担当者）らによる各校の学力向上に係る取組状況や目標の達成状況、成果や課題等について交流し、本市全小・中学校、本市教育委員会、本市教育研究所が一体となった計画の推進に努めます。

